



No.226
 常総市
 2019.8.15
 発行



議会だより

5月定例会議号



国球いきいき茨城ゆめ国体2019
 HANDBALL 翔べ 羽ばたけ そして未来へ
 送体
 ハンドボール競技
 競技会期:10/3~10/7
 競技会場:水海道総合体育館
 水海道第二高等学校体育館



主な記事

- 一般質問（5月定例会議）・・・・・・・・・・ P.2～11
- 5月定例会議審議案件と結果・・・・・・・・・・ P.12
- 常総市各種委員・・・・・・・・・・ P.13
- 8月定例会議日程・・・・・・・・・・ P.13
- 永年勤続議員表彰・・・・・・・・・・ P.14
- 水防訓練・・・・・・・・・・ P.14
- 議長のひとこと・・・・・・・・・・ P.14

6/4～7の4日間にわたり17人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
 ※原則として、平成・令和の元号は省略しています。

質 問 一 般

5 月 定 例 会 議

●が今回掲載した質問です（質問事項を通告順に記載）。本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。各議員の質問内容の詳細は、各議員のページのQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、動画で見ることができます。

1. 岡野 一男	○学校の適正配置について○家族農業10年の宣言について ●市道の安全確保について	3 頁
2. 茂田 信三	●アグリサイエンス、道の駅について○何故、産婦人科準備室を設置しないのか。人口（定住人口）増の切り札ではないか。	
3. 風野 芳之	●常総市が管理する公共施設について ○都市計画道路について	4 頁
4. 堀越 道男	●公共下水道の今後について○保育所問題について○ボランティア活動と庁用バスの利用について○避難所としての学校体育館トイレの改善とエアコンの導入について	
5. 広瀬 光一	●常総市の目指す将来都市像について ○少子高齢化社会における当市の具体的な政策について	5 頁
6. 中村 博美	●鬼怒川サイクリングロードの活用による街づくりについて ○ごみの減量化への取り組みについて	
7. 佐藤 剛史	●子育て支援策について○公共施設等総合管理計画について○定住人口増加への取り組みについて○防災行政無線について○自転車の任意保険加入に対する努力義務について	6 頁
8. 坂野 茂実	●美妻橋の今後の対応と対策について	
9. 吉原 晴照	●企業誘致の取り組みについて	7 頁
10. 飯島 忠	●障がい者が安全安心して避難できる体制について、わが家の防災ガイドブックの運用にあたり、障がい者としての不安項目について説明を求める。 ○しもつま鯨工業団地に伴う県道下妻常総線の交通安全について	
11. 中村 安雄	●常総市坂手町畜産団地内の廃材火災について○働き方改革を推進するための取り組みについて○市民の広場、旧カスミ跡地、水海道公民館の活用について	8 頁
12. 草間 典夫	●教職員の教育現場環境の改善について ○大花羽地区の市道整備状況について	
13. 柳井 真吾	○防災備蓄食品の有効活用について ●ヘルプマークとヘルプカードの配布について	9 頁
14. 石塚 剛	●通学路の安全性について ○道路側溝の問題について	
15. 関 優嗣	●小中学校がおかれている現状について ○当市で開催されるイベントについて○水海道有料道路について	10 頁
16. 遠藤 章江	●常総市における乗合交通「ふれあい号」の現状について何う ○アグリサイエンスバレー構想の進捗状況について問う	
17. 大澤 清	○防災士資格の取得について ●市内のサイクリングロードについて	11 頁



堤防上の道路にはガードレールが必要ではないか



答 河川法の適用があり難しい

議員

鬼怒川豊水橋下流右岸の堤防上の市道には、築堤工事以前にガードレールがあつたが今はない。今後設置する予定はあるか。

産業振興部長

この市道の改修前の幅員は5.5メートルで、カーブが連続し危険であるとしてガードレールがあつた。改修後は幅員が7メートルに拡張され、カーブを緩やかにするなど安全対策が講じられており、現在はポストコーンを設置している。ガードレールについては河川法の制約があり、設置が難しいことから、可能な限りの安全対策を講じていきたい。

議員

今まであつた箇所に新たに設置することはできないか。

生活環境課長

河川法上、堤防の計画断面を侵してはならないため、現在の堤防に腹付けをして河川法の条件を満たす必要がある。

議員

この堤防上は、人家が途切れ夜は真っ暗になる。防犯灯がぜひともほしい。また堤防上ということで監視カメラも必要ではないか。

産業振興部長

河川法の制約により、支柱が設置できないため防犯灯の設置もできない。また、監視カメラも同様である。

議員

河川法があるので、できないならば、市としてはどのような安全管理をやっていくのか。

生活環境課長

ドライバーに道路交通法の遵守をお願いし、安全運転に努めていただきたい。

議員

市道の管理者である市の考えが、車を運転する人のマナーのみに依存するのはおかしい。市民の安全確保が第一である。



血税の無駄づかいをやめること



答 道の駅は常総市民の誇りとなるよう整備する

議員

今日は全国ネットの日本テレビが撮影に来ている。たくさんの方から道の駅建設をやめさせろという電話があつたからである。私は経済・金融の国家資格を持つている経済・金融のプロである。職員にその資格があるのか。

副市長

開発手法から、具体的な事業への展開をコントロールするところが、行政職員の役割である。

議員

知識も資格もない、ど素人に37億もの血税を任せられない。

副市長

専門的知識が必要な部分は、議会の承認を経て予算化し、コンサル委託等で対応している。

議員

コンサルは、競馬の予想と同じで外れても責任がない。以前にも常総市の人口が右肩上がりとなり、市に報告をしている。何故戸田建設所有の土地に15人の職員を配置しているのか。血税が年間1億

5千万もかかるではないか。

副市長

アグリ構想実現に向け、3者協定に基づき11人の職員を配置。今年、迅速かつ確実に推進するため市長直轄の組織とした。

議員

戸田建設が坪2万3千円で買った土地を、市が13万2千円で買うのか。納得する人はいない。何故30億以上の建設費を回収しないのか。使用料金が1千5百万円では、利息にもならない。6月中に契約するというのに、何故議会に説明しない。

副市長

道の駅建設費は約15億である。議会には事前に報告し承認を受けている。今後も順次報告する。

議員

随時報告、契約してからでは遅い。それでは議会が必要ない。コンサルにかければよい話ではない。責任を持つのは市民(税金)である。定住人口増加のため産婦人科を大至急設立し、妊婦が安心して住めるまちに施策が最重要である。血税無駄づかいは、すぐやめるべきである。

岡野 一男 議員

茂田 信二 議員



常総市が管理する公共施設について

施設マネジメント係を新設し、取り組みを進めていく

教育委員会教育部長



答

議員 急激に進む高齢化と少子化の中、今の時代に合ったまちづくりをしていくことが一番重要な課題である。常総市の公共施設の老朽化に伴う見直しについて、財政面も含めて今後どのように考えて整理していくのか、市の考え方を問う。

総務部長

市全体で方針を決めていく必要性を認識し、今年4月に全庁横断的な検討及び判断を行うために、資産管理課を新設し、施設マネジメント係を設置した。さらに、庁内の意思決定機関として、特別職と関係部長による公共施設等運用戦略会議を組織し、全庁一丸となって取り組みを進めていく。

議員

石下体育館について、老朽化や耐震基準の問題により、現在使用を中止しているが、跡地の利用をどのように考えているか。

石下体育館の跡地利用については現在未定のため、今後、豊田城周辺の施設と市有地を一体的に有効活用するために、市全体で検討していく。

議員

石下町時代に、地域交流センターを中心として東部拠点づくりのため、約17億円を投じてきた。現在、どのような利用方法を考えているか。

都市建設部長

東部拠点は、常総市都市計画マスタープランの中で、地域の行政サービスや交流機能の充実を図る生活交流拠点と位置づけられている。重要事項のため、石下東部拠点庁内プロジェクトにより検討をしている。常総市の新たな拠点となるよう、民間事業者等の提案を含め、今後も全庁的に議論を進めていきたい。

議員

庁内においてしっかりマネジメントをし、時代に合ったまちづくりを目指し、市民サービスをのさらなる向上を願う。



豊岡地域の下水道計画について問う

今年度中に国道354号線より南側を計画化する



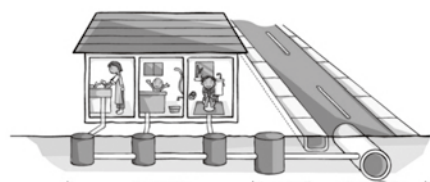
答

議員 公共下水道の今後について尋ねる。私は、公共下水道を初当選以来ライフワークとして取り組んできた。昭和54年頃は「毎日風呂に入れない」「下水道を流すところがない」等の苦情があつた。個人的に合併処理槽をいち早く取り入れ、後の補助金制度に取り付けた。

都市建設部長

豊岡地区市街化区域は、公共下水道の計画地だが、ようやく今年になって一部導入されてきたものの、豊岡市街地の全部ではない。今後の見通しについて問う。

鬼怒川西部における公共下水道の整備は、平成25年度の事業計画変更時に坂手地区の一部及び豊岡地区のきぬ住宅団地やグリーンヒル団地を事業認可区域として追加し実施中である。きぬ住宅団地及びグリーンヒル団地内の面整備工事については、住民の皆様から強い要望も



議員 80%を超える進捗率になったとは、大変な努力をされたと思う。選挙中に「合併処理槽でやってきたが機械が古くなり取り替えない。いつ公共下水が来るのか。」という相談を何度も受けた。引き続き、待っている市民の気持ちになって頑張りたい。いただきたい。

広瀬 光一 議員

主な事業は、いきいき住マイ
ル支援補助金や、医療費支給事
業、また多子世帯子育て応援金
支援事業など子育て世代の支援
等を実施しているほか、第二の

市長公室長

人口増加のために現在取り組
んでいることは何か。

議員

常総未来創生プランの基本構
想の中の重点政策として、交流
人口の拡大、市民総活躍と経済
活性化、福祉の充実と防災先進
都市という3つのまちづくりを
掲げている。本計画の基本構想
には具体的には明記されていな
いが、雇用の拡大や企業誘致、
常総インターチェンジ周辺地域
整備事業の推進、工業立地地区
の生産環境の改善と向上の取り
組みをしている。

水海道有料道路は、平成9年
8月7日に開通し、当市では、
平成29年6月から朝の通勤時間
帯の無料措置を実施した。平成
29年度は6月からの実施で35
00万円、平成30年度は、年間
4200万円の負担をしている。
このように、市単独での費用負
担が大きいため、近隣自治体と
連携を図り支援を要請するなど、
負担金削減について調整を行っ
たが、抜本的な解決には至らず、
平成31年3月末で事業を休止し
た。また、償還期限の令和9年
8月以降については全時間帯無
料になる。

市長

企業協賛の御協力を最大限頂
き、市税の負担を極力少なくし
て、ぜひ来年度は再開したいと
考えている。

水海道有料道路は、平成9年
8月7日に開通し、当市では、
平成29年6月から朝の通勤時間
帯の無料措置を実施した。平成
29年度は6月からの実施で35
00万円、平成30年度は、年間
4200万円の負担をしている。
このように、市単独での費用負
担が大きいため、近隣自治体と
連携を図り支援を要請するなど、
負担金削減について調整を行っ
たが、抜本的な解決には至らず、
平成31年3月末で事業を休止し
た。また、償還期限の令和9年
8月以降については全時間帯無
料になる。

水海道有料道路は、平成9年
8月7日に開通し、当市では、
平成29年6月から朝の通勤時間
帯の無料措置を実施した。平成
29年度は6月からの実施で35
00万円、平成30年度は、年間
4200万円の負担をしている。
このように、市単独での費用負
担が大きいため、近隣自治体と
連携を図り支援を要請するなど、
負担金削減について調整を行っ
たが、抜本的な解決には至らず、
平成31年3月末で事業を休止し
た。また、償還期限の令和9年
8月以降については全時間帯無
料になる。

水海道有料道路は、平成9年
8月7日に開通し、当市では、
平成29年6月から朝の通勤時間
帯の無料措置を実施した。平成
29年度は6月からの実施で35
00万円、平成30年度は、年間
4200万円の負担をしている。
このように、市単独での費用負
担が大きいため、近隣自治体と
連携を図り支援を要請するなど、
負担金削減について調整を行っ
たが、抜本的な解決には至らず、
平成31年3月末で事業を休止し
た。また、償還期限の令和9年
8月以降については全時間帯無
料になる。

都市建設部長

水海道有料道路は、平成9年
8月7日に開通し、当市では、
平成29年6月から朝の通勤時間
帯の無料措置を実施した。平成
29年度は6月からの実施で35
00万円、平成30年度は、年間
4200万円の負担をしている。
このように、市単独での費用負
担が大きいため、近隣自治体と
連携を図り支援を要請するなど、
負担金削減について調整を行っ
たが、抜本的な解決には至らず、
平成31年3月末で事業を休止し
た。また、償還期限の令和9年
8月以降については全時間帯無
料になる。

議員

水海道有料道路の今後につい
て問う。



常総市の向かおうとしている将来像につ
いて問う

常総未来創生プランに基づき
まちづくりを進めていく

中村 博美 議員

以前から検討している。サイ
クリングロードと道の駅の連携

都市建設部長

都内から近く素晴らしい当市
を、スピード感を持って発信し
てほしい。また、道の駅の貸自
転車設置の件は検討しているか。

議員

飲食店等にはサイクルスタ
ンドとのぼり旗を貸出し、ネット
の地図情報で案内するなど、サ
イクリングロードが地域活性化
に役立つように検討する。

都市建設部長

サイクリストに訪れてもら
うための名所旧跡、食事処、土産
物産店を載せたサイクリングコ
ースの案内が必要と思うが。

議員

袋で、関東鉄道は通学通勤時間
帯以外は可能である。

都市建設部長

TXは自転車分解して輸
送で、関東鉄道は自転車の持
ち込みは可能か。

議員

TX、関東鉄道は自転車の持
ち込みは可能か。



市外・県外から訪れて頂くサイクリング
ロードの取り組みについて問う

災害を乗り越え変わる大きな
チャンスとなる

サイクリングロードは当市が
変わるチャンスと認識している
普段から自転車で当市にお越し
下さいという運動をしていくこ
とが、交流人口を増やし商店街
や道の駅の賑わい創出と第2の
移住地域にも進展すると考える。

市長

サイクリングロードは当市が
変わるチャンスと認識している
普段から自転車で当市にお越し
下さいという運動をしていくこ
とが、交流人口を増やし商店街
や道の駅の賑わい創出と第2の
移住地域にも進展すると考える。

議員

鬼怒川緊急対策プロジェクト
7市に国交省が入る協議会で当
市からルールとマナーの呼びか
けをしていきたい。

都市建設部長

鬼怒川緊急対策プロジェクト
7市に国交省が入る協議会で当
市からルールとマナーの呼びか
けをしていきたい。

議員

サイクリングロードと称して
いるが、正式には「自転車・歩行
者専用道路」なので区別はない
区別がないと、双方が気を付
けて通るしかないということか

都市建設部長

サイクリングロードと称して
いるが、正式には「自転車・歩行
者専用道路」なので区別はない
区別はあるのか。

議員

サイクリングロード天端で接
触事故なく双方が安全に楽しめ
るような自転車と歩行者道路の
区別はあるのか。



子育て支援政策について問う

答 常総らしさを積極的に検討する

坂東市では、第3子以上の出産奨励金として50万円を支給している。出産に対する一時金については、ばらまき政策になりかねないといった考え方もあるが、出生率が向上した場合に予算が必要と考えれば、決してばらまきではない出生率向上に繋がる政策と考える。市として出産に対する手当等の考えは。



議員

少子化が進む中、希望する子どもの数を持ってない要因として経済的な負担を理由とする世帯の負担軽減に対する考えは。

保健福祉部長

経済的負担軽減を図る市の単独事業は、出産時にお祝金を支給する出産祝金支給事業を行っている。支給金額は第1子が5千円、第2子が1万円、第3子以降が2万円である。その他、経済的負担の大きい就学児童対策として、第3子以降の児童が義務教育期間にある保護者に対し、昨年度から第3子1万円、第4子2万円、第5子以降は3万円を支給する多子世帯子育て応援金支給事業を行っている。

議員

生まれてきた子どもたちへのサポート体制の充実も大変重要だが、出生率の向上を考えた場合、子どもを産むための政策、子どもを産みたいと思うような政策についても大変重要である。



美妻橋の今後の対応と対策について

答 整備促進期成同盟会において架け替えについて検討していく



議員

美妻橋の老朽化を市はどのように捉えているか。

都市建設部長

県によると平成27年度に橋梁長寿命化を図り、耐震工事も済んでいることから、架け替えは考えていないとの回答であった。市でも予防保全型へ転換を図っており、寿命を延ばし維持管理していく方向になる。

議員

橋の寿命は減価償却の耐用年数等に関する大蔵省令により50年と言われており、すでに寿命を過ぎていく。東日本大震災や関東東北豪雨等でダメージを受けている可能性があり、見えな部分の腐食や老朽化、コンクリートの劣化等が進んでいる可能性が考えられるがどのような対策を施しているのか。

道路課長

橋梁は5年に一度の点検が義務付けられており、その結果によって修繕箇所を決定し、計画

議員

これまでに架け替えや渋滞の慢性化の解消の要望はしていなかったのか。

道路課長

今後、土浦坂東線整備促進期成同盟会において、架け替えについて協議検討していく。

議員

防災の面から考えると堤防が15メートル高上げされたが、関東東北豪雨の際には、橋と水面の間隔が15〜20センチ程度で、堤防が高くなった現在では増水の際には危険な橋であると考えている。市として架け替えを含めた要望を強く押し進めていたきたい。また、美妻橋の渋滞慢性化に対し、効果的な策をどのように考えているか。

都市建設部長

右折車が右折できずに停留することで渋滞が発生すると考え、時差式信号機の設置も有効と思うが、交差点全体の渋滞緩和について、管理者である県に対し、要望活動を実施していきたい。

市原 晴照 議員



企業誘致の取組みについて



答 基本計画を今年度中に策定する

議員 現在の工業団地の拡張や新規候補地の検討について問う。

都市建設部長

新たな工業団地に関する計画はないが、都市計画マスタープランにおいて、産業誘導ゾーンが示されている。新規候補地の検討は昨年度から進めており、今年度も引き続き市内全地域から対象となる候補地の抽出を行い、それらの結果を踏まえて、候補地を選定し、整備方針等の基本計画を今年度中に策定する。

都市計画課長

議員 マスタープランはあるが、あるべき姿の絵として、何年後に完成し、規模は何ヘクタールの工業団地を作るか目標を持って調査をすべきと思うが。

当市には、事業主体となる土地開発公社がないので、今の体制では難しい。

議員 状況は分かったが、提案として

て、具体的な例から千葉市などを参考に取組んでもらいたい。また、アグリサイエンスバレー構想の企業誘致19ヘクタールの条件と進捗について問う。

副市長

構想は、食と農の産業団地形成を目指し、農産物の加工を行う食品関連企業、流通関連企業など、事業協力者である戸田建設が主体的に進めている。令和3年度末に全体の造成工事完了を目標としている。現在、戸田建設において数社と協議交渉中であり、事業計画年度である令和4年度内のすべての操業を目標に、今後も全力で取り組んで行く。

議員 市としては、大規模な開発計画なので、計画どおりに完成できるといって進捗管理をしていただきたい。



□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

飯島 忠 議員



障がい者の方々の避難の仕組みについて問う



答 平成27年関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえ、地域防災を強化

議員 災害時、避難できない人又は支援をしてもらえない人がいると聞いている。行政としてこの問題をどのように解決していくのかを問う。

保健福祉部長

今後、具体的な避難行動要支援者の避難支援プラン、個別計画を、要支援者及び関係者と一緒に話し合いながら、地域の実情を踏まえ作成し、地域防災のさらなる強化に努めていく。

議員 個別計画はいつ頃までにできるのか。

防災危機管理課長

作成にあたり、本人や家族の同意が必要なこと、時期はお示しできないが、福祉部局と防災部局と連携しながら進めていきたいと考えている。

議員 緊急事態はいつ起こるかかわらないことから、早急に作成願、安全・安心できる環境づく

居住スペースの中で、環境の良いところを優先的に配慮していく。また、教室等の個室がある場合は、要配慮者のスペースとして割り当てることも考えている。また、配慮が必要な方と識別できるようなヘルプマーク・ヘルプカード等の活用も視野に入れ、さらに避難所での特段の支援が必要と判断される場合は、福祉避難所への移管や施設への入所等も検討していく。

保健福祉部長

議員 ヘルプマーク・ヘルプカードの運用には十分注意し、さらなる努力と対応をお願いしたい。





坂手町廃材置場火災について問う



答 県に対しても徹底指導を依頼する

議員 坂手町の通称畜産団地内にある古物業「立東商事」の廃材置場で火災が発生し、これにより地域に与える影響は、大変大きなものがあるのではないかと。県からの廃材置き場の許可や行政指導について、我々市民が知らされていなかったことは問題である。この件について、県の指導が甘かったのではないかと考

議員 指導を行ってきた。9月19日付けで提出された改善計画書には7カ月半かけて保管されている在庫を処理する旨が記載されており、5月22日には県と当市との合同で立入検査を実施、改善状況の確認を予定していた。

産業振興部長 使用済み家電については、昨年4月1日に廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により、それらを保管する事業者は県への届け出や基準に適合した保管を行う旨の規制が強化された。これに伴い県は、昨年8月20日の立入検査時において、使用済み家電が約10メートルの高さに保管されていたことから、8月28日付で改善計画書の提出を求め、11月5日には改めて保管を停止し改善を求めるなどの

議員 鎮火後に人的・農業・畜産業に対する被害や、土壌汚染も考えられると思うがどうか。

生活環境課長 土壌検査に関しては、基準内であると報告を受けている。

議員 この火災を契機に行政の権限をもって、徹底した基準に合った指導をこれからもお願いしたい。防災先進都市として、防災に取り組んでいる当市だからこそ徹底した指導が大事である。

市長 市としても、再度このような災害がないよう、徹底指導を改めて県にお願いしていきたい。

議員 業務内容としては、教材研究、採点事務、学校行事の準備、部活動の指導、児童生徒、保護者への相談対応としての個別面談や家庭訪問等が挙げられる。部活動に関しては、昨年度から活動平均時間等も含めて、明確に指導方針を示している。また、本年度4月の時間外の1校当たりの平均相談対応件数は、小学校が22・5件、中学校が74・2件となっている。

議員 常総市の部活動指導の詳細を尋ねる。

指導課長 本年度4月の時間外における部活動の平均指導時間の現状は、平日は1・5時間、休日は3・5時間となっている。平日は2

議員 教育現場環境改善対策として、事務的業務補助職員を採用してはどうか

議員 児童生徒に向き合う時間の確保という視点で取り組みたいという時間、週末は3時間程度、週2回の休養日を取り、原則として朝の活動は行わないなど生徒及び教職員の負担を軽減している。

議員 教職員のメンタルヘルス対策について尋ねる。

議員 ストレスチェックを活用したセルフケア、スクールカウンセラーのアドバイスによるメンタルヘルス研修を実施している。

議員 教職員の事務的業務を補助する非常勤職員を採用する考えはあるか。児童生徒と触れ合う時間の確保という視点から尋ねる。

議員 県事業として、市町村立学校障害者事務嘱託員が市内3校に配置され教員と児童生徒が向き合う時間の確保に有効に働いている。今後も児童生徒との環境づくりに取り組んでいきたい。

議員 教育現場環境改善の一つとして、教職員への事務的業務のサポート拡充をお願いしたい。

事務局 事務的業務補助職員：教員の負担軽減を目的として実施。教員の事務的業務（教材等の準備及び保管、プリント等の印刷・配付準備、授業準備、学校行事等の準備・後片付け、名簿の作成、統計情報データ入力等）を補助する職員。



教職員の教育現場環境改善対策として、事務的業務補助職員を採用してはどうか



答 児童生徒に向き合う時間の確保という視点で取り組みたい

議員 教職員が児童生徒の成長を実感できる時間の確保が喫緊の課題と考えるが、学校の教育現場の現状をどう認識しているか。

議員 教職員のメンタルヘルス対策について尋ねる。

教育委員会教育長 業務内容としては、教材研究、採点事務、学校行事の準備、部活動の指導、児童生徒、保護者への相談対応としての個別面談や家庭訪問等が挙げられる。部活動に関しては、昨年度から活動平均時間等も含めて、明確に指導方針を示している。また、本年度4月の時間外の1校当たりの平均相談対応件数は、小学校が22・5件、中学校が74・2件となっている。

議員 常総市の部活動指導の詳細を尋ねる。

指導課長 本年度4月の時間外における部活動の平均指導時間の現状は、平日は1・5時間、休日は3・5時間となっている。平日は2

議員 教育現場環境改善の一つとして、教職員への事務的業務のサポート拡充をお願いしたい。

議員 教育現場環境改善の一つとして、教職員への事務的業務のサポート拡充をお願いしたい。

事務局 事務的業務補助職員：教員の負担軽減を目的として実施。教員の事務的業務（教材等の準備及び保管、プリント等の印刷・配付準備、授業準備、学校行事等の準備・後片付け、名簿の作成、統計情報データ入力等）を補助する職員。

柳井 真吾 議員



ヘルプマークとヘルプカードについて問う

答

配布を予定しており、普及啓発も図っていききたい

プカード、ポスター、パンフレットを配布予定である。

議員

県では、平成30年度より障がい福祉政策としてヘルプマークとヘルプカードの普及啓発を推進している。守谷市やつくば市では、昨年度から配布がされているが、当市では行われていない。その理由は、

保健福祉部長

常総市障がい者プランの施策の基本項目において、障がい者に優しい福祉まちづくりを目標に定めており、日常生活の困った場面や災害時において配慮が必要なことを知らせるヘルプマークとヘルプカードについて、必要性を感じており、導入の検討をしていた。

議員

今後、ヘルプマークとヘルプカードの配布予定はあるか。

保健福祉部長

県では今年度ヘルプマーク、ヘルプカードの普及啓発の推進を図るため、実施計画を作成し、6月上旬にヘルプマークとヘル

議員

具体的にいつから、どこでどのように配布するのか。

保健福祉部長

早急に市民の皆様へ広報等で知らせるとともに、担当課である社会福祉課、保健センター、社会福祉協議会の窓口で配布を予定している。また、ヘルプカードについては、ホームページからもダウンロードできるような形にしたい。さらには、窓口への来所が困難な方に対して、郵送での配布も検討をしている。

議員

心のバリアフリー推進の上からも、学校教育現場においてヘルプマークとヘルプカードの学習を行うてはどうか。

教育委員会教育長

この学習の機会を積極的に設定することは、多様性を認め合い、共存社会を担っていく子どもたちにとって必要であると考える。



通学路の安全性について問う

答

安全性確認の改善と危険箇所確認、対策を実施する

議員

当市における現状の通学路の安全性の確認はしているのか。また、安全性について問題はなにかを伺う。

教育委員会教育部長

常総市通学路交通安全プログラムを策定し、関係機関と連携し、各学校で学区内通学路を調査の上、合同点検後に問題箇所に応じた対策を講じている。

議員

事例箇所の通学路は、安全性に問題がなかったのか。

学校教育課長

基本的には安全性に重大かつ緊急的な問題はない。課題が把握できている箇所、新たに課題が上った箇所は、スピード感をもって対応を進めていく。

議員

安全性を確認する上で、想定するリスクの抽出や分析、確認が不足していないか。

学校教育課長

様々な条件下の点検を行って

議員

リスクアセスメント等、客観的にリスク分析・評価を行い、ランクづけをして確認精度をあげてほしいと思う。

学校教育課長

通学路の安全点検は、分析方法、確認精度向上を含めて、今後の課題として連携する関係機関と対応方法について十分協議を行っていく。

議員

事例箇所の対策はいつになるのか。

教育委員会教育部長

年度内に回答できるような、できる限り早急に行っていく。

議員

事故の未然防止は日頃からの積み上げが大切で、安全安心のまちづくりに繋がると思う。今後の早急なる対応をぜひともよりしくお願いしたい。

石塚 剛 議員



小中学校がおかれている現状について

答 解決していく必要がある

教育委員会教育長

議員 当市の今年度の小中学校の児童生徒数と今後の児童生徒数の予想推移について尋ねる。

保健福祉部長 本年度の児童生徒数は、令和元年5月現在、児童3111名、生徒1692名、計4803名になっている。

議員 予想されるとおりの推移をたどった場合、極めて少人数化してしまいう学校やクラスが生じてしまわないか。

教育委員会教育部長 令和元年度では、児童生徒の少ない学校については、1クラス2年生と3年生による複式学級を編成している。

議員 複式学級では、異学年が一つの教室に入って学習すると、先生はそれぞれの学年について学習指導をするのか、それとも一人の先生が指導するのかを伺う。

児童生徒数で配置職員が決まるので、少人数校では職員が配置されないため、複式学級をつくらざるを得ない。そういう意味で、一つの教室に担任は一人というのが、複式学級の現状である。

議員 児童生徒数が少ないという理由で、複式学級の編成を強いられ平等に学べる環境にない現状で、これまで様々な理由や事情で手をつけられなかった部分に関して、真剣に考えていかなければならない。

なにより、未来の当市を担っていくべく、当市の宝である子どもたちを最優先に、学ぶ環境を平等に公平に与えてあげなければならぬ。それが大人の使命であると思う。

以上を踏まえ、積極的に、より慎重に、また斬新に考えていただきたい。



運転免許返納したらどうしよう!!
一日も早くコミュニティバスを走らせてほしい

答 二年程度はかかると考えている

保健福祉部長

議員 高齢者が運転する車の事故を未然に防止するためには、しっかりととした地域公共交通網をつくるのが急務である。常総市公共交通活性化協議会（以下協議会）の運営状況は。

市長公室長

協議会は、ほぼ年一回、会議を開催している。平成30年度の予算額は約4千7百万円である。

議員 国交省は協議会に、ふれあい号の利用者、実績を知る者の参画を求めている。メンバーを再考し、地域公共交通網形成計画を策定する必要がある。人が動くことでまちは活性化される。観光戦略など関連施策と連帯し面的な公共交通ネットワークを再構築してほしい。交通政策はまちづくりだということに関係部署で認識しないことには市の活性化はあり得ない。ふれあい号利用者登録者数は10年間で常総市人口の約12%、8042人で

ある。平成21年まで運行していた福祉循環バスの契約内容は。

委託金は年1890万円（水海道地区）、年419万2千円（石下地区）となっている。

議員 新たにバスを走らせるには、どれぐらい時間がかかるか。

市民と共に考える課長

コンサルを入れて調査するため、約2年はかかると考える。

議員 国交省はコンサルに発注する前に市が頭の体操をすることが大切だと言っている。ふれあい号に対するクレームは。

市長公室長

昨年度のアンケート結果は、おおむね満足と認識している。

議員 広報紙に「ふれあい号は福祉目的での利用はできない」とある。福祉目的ではないとうたいながら業務を委託しているのは社会福祉協議会。視覚障がい者や軽度な身障者なら介添人なしで乗車できるようにしてほしい。

令和元年 5月定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	審議結果
議案第2号	常総市税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第3号	常総市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第4号	常総市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
議案第5号	水海道あすなろの里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第6号	市道の路線の認定について	可決
議案第7号	市道の路線の認定について	可決
議案第8号	市道の路線の変更について	可決
議案第9号	市道の路線の変更について	可決
議案第10号	市道の路線の変更について	可決
議案第11号	常総市公共下水道条例の一部を改正する条例について	可決
議案第12号	常総市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	常総市水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について	可決
議案第14号	令和元年度常総市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第15号	常総市議会における政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第16号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（折原一己氏）	同意
推薦第1号	人権擁護委員の推薦について（関根則雄氏）	推薦
推薦第2号	人権擁護委員の推薦について（野口次男氏）	推薦
推薦第3号	人権擁護委員の推薦について（高野 守氏）	推薦
推薦第4号	常総市各種委員の推薦について	推薦
選挙第7号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について（岡野一男君）	当選

《会議の欠席等の状況》

6/5 本会議 茂田信三（遅参） 6/7 本会議 風野芳之（早退） 6/13 本会議 水野 昇（欠席）

令和元年 5月定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。

※議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

※当市議会は3名以上で構成される団体を会派として認めています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	常総の志			未来				令明会				令政会			無会派							
	坂巻文夫	関 優嗣	倉持 守	小林 剛	飯島 忠	坂野茂実	中村安雄	佐藤剛史	広瀬光一	草間典夫	吉原晴照	大澤 清	柳井真吾	石塚 剛	遠藤章江	中村博美	岡野一男	茂田信三	喜見山明	風野芳之	水野 昇	堀越道男
議案第11号	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×
議案第12号	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は採決に加わらない

常 総 市 各 種 委 員

委員会名	委員氏名
総合計画審議会委員	広瀬光一 佐藤剛史 風野芳之
まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員	石塚 剛 岡野一男
男女共同参画推進審議会委員	広瀬光一 柳井真吾 岡野一男
環境審議会委員	飯島 忠 柳井真吾 中村安雄
国民健康保険運営協議会委員	遠藤章江 佐藤剛史 喜見山明
民生委員推薦会委員	関 優嗣 飯島 忠
子ども・子育て会議委員	堀越道男
介護保険運営協議会委員	大澤 清 飯島 忠 中村安雄
都市計画審議会委員	水野 昇 草間典夫 吉原晴照 佐藤剛史 喜見山明
空家等対策協議会委員	中村安雄 大澤 清
下水道事業審議会委員	石塚 剛 堀越道男 中村安雄
水道事業審議会委員	坂野茂実 関 優嗣 喜見山明
(財)水海道あすなろの里理事	飯島 忠 関 優嗣 喜見山明
青少年問題協議会委員	小林 剛 草間典夫 坂巻文夫
社会教育委員兼公民館運営審議会委員	柳井真吾 関 優嗣
教育支援委員会委員	草間典夫
学校給食センター運営委員会委員	柳井真吾 大澤 清 坂巻文夫
図書館協議会委員	佐藤剛史 石塚 剛
生涯学習センター運営協議会委員	関 優嗣

8月定例会議日程(予定)

- 8月28日(水) 第9回会議(本会議)
- 9月3日(火) 第10回会議(一般質問)
- 9月4日(水) 第11回会議(一般質問)
- 9月5日(木) 第12回会議(一般質問)
- 9月6日(金) 第13回会議(一般質問)
- 9月9日(月) 予算・決算特別委員会
- 9月10日(火) 決算特別委員会
- 9月11日(水) 決算特別委員会
- 9月12日(木) 常任委員会(分科会)
- 9月13日(金) 常任委員会(分科会)
- 9月17日(火) 常任委員会(分科会)
- 9月19日(木) 予算・決算特別委員会
- 〃 第14回会議(本会議)

※正式な日程は8月21日に開催される議会運営委員会で決定されます。

令和元年度 一般会計補正予算(第1号) を可決しました!

主な補正予算

- プレミアム付商品券事業経費 6,720万9千円
【事業概要】消費税引き上げに伴う国の政策で、低所得者・子育て世帯に対し販売される。
【購入対象者】低所得者・子育て世帯に対し2万5,000円の商品券を2万円で販売するもの。



- 夜間中学経費 249万5千円
【事業概要】夜間中学とは、様々な理由で義務教育を修了できなかった人たちに「学びなおしの場」を提供する事業。今回の経費は、夜間中学開設に向けたリーフレット作成費や調査費等の準備経費である。

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会では、市議会議員として永年勤続され、地方自治の進展に寄与された議員に対し、毎年表彰を行っています。

今年度は、6名が表彰されました。

○堀越 道男 議員

全国・県市議会議長会40年特別表彰

○風野 芳之 議員

全国・県市議会議長会20年特別表彰

全国・県市議会議長会議長職4年一般表彰

一般表彰

○倉持 守 議員

茨城県市議会議長会8年一般表彰

○小林 剛 議員

茨城県市議会議長会8年一般表彰

○堀越 輝子 前議員

茨城県市議会議長会8年一般表彰

○新田 宏安 前議員

茨城県市議会議長会8年一般表彰



市議会議長会の規定により、石下町議会議員としての勤続年数は2分の1として算出されます。

第60回鬼怒・小貝水防訓練

7月7日、鬼怒川左岸（上三坂地先 常総きぬ大橋上流）にて水防訓練が開催されました。平成27年の関東・東北豪雨災害を教訓とし、改めて防災意識を高める必要性を感じました。



＜月の輪工法＞

漏水し、水が噴き出した場合に行う。水圧を弱め、漏水の量を減らし、吐け口が大きくなるのを防ぐ。



＜シート張り工法＞

堤防の川表法面が水の流れや波により欠けたり崩れたりした場合に行う。

議長のひとこと



令和に入り改選後の初議会において17名の議員から一般質問があり、市政に対する熱意を強く感じました。

議会と執行部が協力して常総市発展に邁進して参ります！

また、9月28日から「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。常総市はハンドボール競技会場となっており、10月3日から10月7日まで水海道総合体育館および水海道第二高等学校において行われ、記念すべき年となります。今後も皆様のさらなる飛躍を期待すると共に、御協力と御支援をお願いいたします。

常総市議会議長 倉持 守

編集後記

私たち広報委員会は、議会活動を市民の皆さんに周知することを目的とし、議会だよりを編集、発行しています。しかし、議員22名の議会活動については、限られた紙面の中で報告することは至難の業であり、発行のたびに苦悩しているのが現状であります。

政治は大きく変容する社会経済環境の中で、常に活発に変化を続けています。同時に個々人の価値判断も多種多様になりつつあります。異なる意見の存在を認め、尊重し合うことが民主主義の原則です。これらも変化し続ける政治とともに、市民のために働く議会を発信していきま。政治に関心がなくなれば、民主主義は停滞します。この議会だよりによって、議会に関心を持っていただける入口となるよう、また一方通行とならないよう、紙面づくりに努めてまいりますので、今後とも愛読ください。

議会広報委員会

- 委員長 岡野 一史
- 副委員長 佐藤 剛
- 委員 岡野 一史
- 委員 佐藤 剛
- 委員 遠藤 章
- 委員 石塚 晴
- 委員 吉原 典夫
- 委員 大澤 清
- 委員 草間 夫



岡野 一史
佐藤 剛
岡野 一史
佐藤 剛
遠藤 章
石塚 晴
吉原 典夫
大澤 清
草間 夫